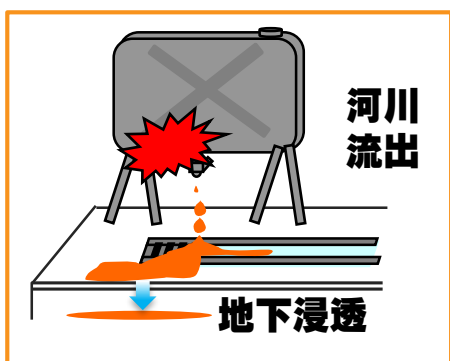


油流出事故を防ぎましょう！

作業ミスや老朽化による油流出

冬期には、**重油のタンクや配管**などから油が漏れ出す事故が**多発**しています。

原因の多くは、①バルブの締め忘れや機械の操作ミスなどの「**作業ミス**」、②タンクや配管の老朽化等による腐食・亀裂の発生などの「**施設の破損**」です！



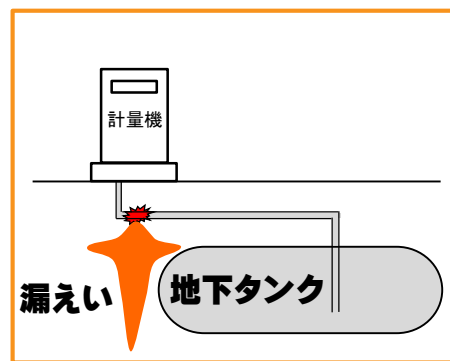
河川
流出

地下浸透

バルブの緩み、締め忘れによる漏えい



除雪作業中、重機で配管を破損したことによる漏えい



漏えい

地下タンク

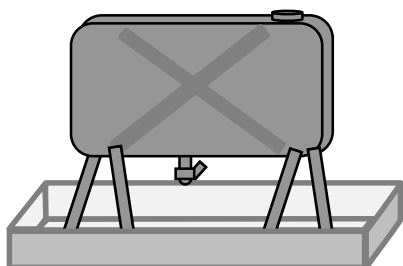
タンクや配管の腐食・亀裂の発生による地下への漏えい



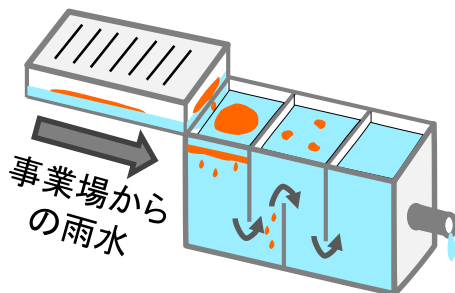
- 作業ミスを防ぐため、バルブなどへの注意書きの掲示、チェックリストによる作業手順の確認・徹底などに取り組みましょう。
- 除雪作業や掘削工事を行うときは、事前にタンクや配管の場所を確認しましょう。
- タンクや配管に腐食や亀裂がないか点検しましょう。また、こまめに油の消費量をチェックしましょう。

油流出防止のためのハード対策（例）

ハード対策を行い、事業場の外に油が流出しないようにしましょう。



防油堤の設置



油水分離槽の設置



油水分離槽は油がたまったら掃除しよう。

このほか、排水路への油膜検知器の設置など

万が一、油流出事故を起こした場合は・・・

早急に

応急措置と関係機関への連絡を必ずお願いします！

応急措置

<漏えいや流出の拡大の防止>

- ① バルブを閉める、遮断弁を閉じる。
- ② 土のうを積む。
- ③ 関連施設を緊急停止し、油の拡散を防ぐ。



<汚染や被害の拡大の防止>

- ① 水路や河川にオイルフェンスを張る。
- ② 吸着マットやおがくずで回収する。古布等で拭き取る。
- ③ 油で汚れた土壌を取り除く。

油処理剤は使用
しないでください！

※ 油処理剤は油を分解するものではありません。河川等へ流れると水質汚濁の原因となります。

連絡内容

- ① 発生・発見の日時・場所(地名、事業所名、流出した河川名など)
- ② 事故の内容(原因、油の種類など)
- ③ 規模(漏えい量など)
- ④ 被害状況と影響範囲(河川の下流、土壌への浸透など)
- ⑤ 講じた応急措置の内容



パッコちゃん

連絡先

環境の関係機関

富山県環境保全課 076-444-3146
市町村環境関係課 076

危険物(油類など)の関係機関

消防署 119

連絡先を記入

河川や海の管理者などの関係機関

国土交通省富山河川国道事務所 076-443-4765
国土交通省黒部河川事務所 0765-52-4687
伏木海上保安部 0766-45-0118
富山県河川課 076-444-3323

水質汚濁事故対応ハンディマニュアル第2版(原因者の対応)

県ウェブサイトに掲載していますので、工場・事業場に備え付けるなどご活用ください。
<https://www.pref.toyama.jp/1706/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00010320.html>



マニュアル

QRコードは脚デンソーウェブの登録商標です。

問合せ先：富山県水質汚濁事故対策連絡会議(事務局 富山県環境保全課 ☎076-444-3146)